

キューバ向けに尿素技術供給契約調印

平成22年5月14日
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社（取締役社長 山田豊）は、キューバ政府とベネズエラ国営石油化学会社（ペキベン社）との合弁企業である石油化学・肥料会社キューベンペック社から、シエンフエーゴス州カリチートに建設する日産 2200 トンの大粒尿素プラント向け技術供給契約を結びました。

契約範囲は、ライセンス供与と基本設計図書の作成で、プラントは 2014 年スタートアップを予定しています。

このプロジェクトは、キューバ政府の方針に沿って最新・高効率、省エネルギー型技術に基づく高品質な大粒尿素を生産し、輸入品の代替および輸出市場の獲得を狙っています。当社の尿素合成技術「ACES21[®]」と大粒造粒技術は、建設費とユーティリティ消費量の双方を抑えることが出来る技術であり、それぞれ ACES21[®]が 5 プラント、大粒尿素が 19 プラント、世界中で採用されています。

当社は、尿素プロセスのライセンサーであるばかりでなく、創業以来 50 年近く尿素プラントの EPC コントラクターでもあり、現在ベネズエラで尿素プラント建設プロジェクトを遂行中です。

このプロジェクトは、キューバにおける当社の最初のプロジェクトであり、当社は同国の尿素生産の安定供給に貢献してまいります。

<受注概要>

- 客先： キューベンペック社（キューバ政府とベネズエラ ペキベン社の合弁企業）
- 受注者： 東洋エンジニアリング
- 役務範囲： 尿素合成技術、大粒造粒技術のライセンス供与、基本設計図書作成
- 建設地： キューバ、シエンフエーゴス州カリチート
- プラント完成予定： 2014 年
- 受注の意義：
 - ・当社としてキューバにおける最初のプロジェクトであること
 - ・当社の尿素製造における 2 つの独自技術が顧客に選ばれたこと

以上

注：ACES21 は、東洋エンジニアリング株式会社の日本における登録商標です(登録番号 4309123)。

<お問合せ先> 東洋エンジニアリング株式会社 広報・IR室 川腰・深沢 TEL:047-454-1113

